

平成30年1月期（平成29年1月21日～平成30年1月20日）決算短信

平成30年3月5日

ファンド名 純プラチナ上場信託（現物国内保管型）

上場取引所 東証

コード番号 1541

連動対象指標 東京商品取引所におけるプラチナ1グラムあたりの先物価格を、一定の貴金属業者の提示するフォワードレートで現在価値に引き直した価格に基づくプラチナ地金の標準純度質量1グラムあたりの価格

主要投資資産 プラチナ地金

売買単位 1口

発行会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 URL <http://kikinzoku.tr.mufg.jp/>

代表者名 取締役社長 池谷 幹男

問合せ先責任者 証券代行部 日野 真 TEL (03)3287-9548

有価証券報告書提出予定日 平成30年4月20日

分配金支払開始予定日 原則として分配金はありません

I ファンドの運用状況

1. 平成30年1月期の運用状況（平成29年1月21日～平成30年1月20日）

(1) 資産内訳

(千円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	千円	%	千円	%	千円	%
30年1月期	11,726,613	(100.0)	△5,197	(△0.0)	11,721,415	(100.0)
29年1月期	12,351,647	(100.0)	△5,579	(△0.0)	12,346,067	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	口	口	口	口
30年1月期	3,469,578	834,492	946,904	3,357,166
29年1月期	2,930,261	915,746	376,429	3,469,578

(3) 純資産

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり純資産 (③/当計算期間末発行済口数)
	千円	千円	千円	円
30年1月期	11,758,547	37,131	11,721,415	3,491.46
29年1月期	12,480,185	134,118	12,346,067	3,558.38

2. 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

無

② ①以外の会計方針の変更

無

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成30年1月期決算短信

Ⅱ 財務諸表等

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	前計算期間末	
		平成29年1月20日現在	
		当計算期間末	
		平成30年1月20日現在	
資産の部			
流動資産			
銀行勘定貸		—	31,933
未収消費税等		128,538	—
流動資産合計		128,538	31,933
固定資産			
投資その他の資産(※1)		12,351,647	11,726,613
固定資産合計		12,351,647	11,726,613
資産合計		12,480,185	11,758,547
負債の部			
流動負債			
未払金		6,024	5,614
仮受金		128,094	—
未払消費税等		—	31,517
流動負債合計		134,118	37,131
負債合計		134,118	37,131
純資産の部			
元本等			
元本(※2,3)		12,466,870	11,873,058
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金(※3)		△ 120,803	△ 151,642
利益剰余金合計		△ 120,803	△ 151,642
元本等合計		12,346,067	11,721,415
純資産合計		12,346,067	11,721,415
負債純資産合計		12,480,185	11,758,547

(2) 損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前計算期間		当計算期間	
		自 平成28年1月21日 至 平成29年1月20日		自 平成29年1月21日 至 平成30年1月20日	
営業収益					
営業収益合計			—		—
営業費用					
受託者報酬			52,530		55,181
その他費用			3,533		3,361
その他の事業費用(※1)			6,185		5,000
営業費用合計			62,249		63,543
営業損失(△)			△ 62,249		△ 63,543
営業外収益					
受取利息			—		0
営業外収益合計			—		0
経常損失(△)			△ 62,249		△ 63,543
税引前当期純損失(△)			△ 62,249		△ 63,543
当期純損失(△)			△ 62,249		△ 63,543

（3） 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 投資その他の資産の評価基準及び評価方法	移動平均法による原価法により評価を行っております。
2 その他	本信託における消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

（貸借対照表に関する注記）

前計算期間末（平成29年1月20日）

- ※1 投資その他の資産は、信託約款第7条に定める本信託の信託財産であるプラチナ地金であります。
 ※2 元本は、「財務諸表等規則」第61条に定める資本金であります。
 ※3 元本及び利益剰余金の変動
 当計算期間（自 平成28年1月21日 至 平成29年1月20日）

（単位：千円）

	元本等			元本等合計	純資産合計
	元本	利益剰余金	利益剰余金 合計		
		その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金			
当期首残高	11,002,845	△70,564	△70,564	10,932,281	10,932,218
当期変動額					
設定	2,818,151	—	—	2,818,151	2,818,151
転換	△1,354,126	12,010	12,010	△1,342,115	△1,342,115
当期純損失 (△)	—	△62,249	△62,249	△62,249	△62,249
当期変動額 合計	1,464,024	△50,238	△50,238	1,413,785	1,413,785
当期末残高	12,466,870	△120,803	△120,803	12,346,067	12,346,067

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成30年1月期決算短信

当計算期間末（平成30年1月20日）

- ※1 投資その他の資産は、信託約款第7条に定める本信託の信託財産であるプラチナ地金であります。
 ※2 元本は、「財務諸表等規則」第61条に定める資本金であります。
 ※3 元本及び利益剰余金の変動

当計算期間（自平成29年1月21日至平成30年1月20日）

（単位：千円）

	元本等			元本等合計	純資産合計
	元本	利益剰余金	利益剰余金 合計		
		その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金			
当期首残高	12,466,870	△120,803	△120,803	12,346,067	12,346,067
当期変動額					
設定	2,784,847	—	—	2,784,847	2,784,847
転換	△3,378,659	32,704	32,704	△3,345,955	△3,345,955
当期純損失 (△)	—	△63,543	△63,543	△63,543	△63,543
当期変動額 合計	△593,811	△30,839	△30,839	△624,651	△624,651
当期末残高	11,873,058	△151,642	△151,642	11,721,415	11,721,415

（損益計算書に関する注記）

前計算期間	当計算期間
自平成28年1月21日至平成29年1月20日	自平成29年1月21日至平成30年1月20日
※1 その他の事業費用とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による損失であります。	同左

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

本信託は、プラチナ地金を信託財産とした信託に係る受益権を金融商品取引所に上場し、受益者の投資に資するよう受託者が主としてプラチナ地金を信託財産として管理及び処分することを目的としており、受託者による信託財産の運用は行っておりません。

（2）金融商品の内容及びリスク

①未収消費税等

追加設定等により委託者よりプラチナ地金の引渡し（譲渡）を受けた際に、当該委託者へ支払った消費税等相当額であり、1年以内に還付される予定であります。

②仮受金

消費税等の支払に充当するための現預金を受託者の銀行勘定より一時的に立替えを受けているものであり、リスクは限定的であります。

③銀行勘定貸

銀行勘定貸とは、信託財産に属する金銭を受託者の銀行勘定で運用することをいいます。銀行勘定貸には信用リスクがあり、運用先である受託者の信用状況が悪化した場合、投資した金銭の一部または全部が毀損することがあります。

④未払消費税等

転換等により委託者等にプラチナ地金の引渡し（譲渡）を行った際に、当該委託者等から受取った消費税等相当額であり、1年以内に納付する予定であります。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

本信託では、受託者による信託財産の運用は行っておらず、該当事項はありません。

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成30年1月期決算短信

II 金融商品の時価等に関する事項

(1) 貸借対照表計上額の時価との差額

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。

(単位：千円)

	前計算期間末 (平成29年1月20日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
①未収消費税等	128,538	128,538	—
資産計	128,538	128,538	—
②仮受金	128,094	128,094	—
負債計	128,094	128,094	—

(単位：千円)

	当計算期間末 (平成30年1月20日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
①未収消費税等	—	—	—
③銀行勘定貸	31,933	31,933	—
資産計	31,933	31,933	—
②仮受金	—	—	—
④未払消費税等	31,517	31,517	—
負債計	31,517	31,517	—

(2) 時価の算定方法

前計算期間末 平成29年1月20日	当計算期間末 平成30年1月20日
①未収消費税等 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。	①未収消費税等 該当事項はありません。
②仮受金 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。	②仮受金 該当事項はありません。
	③銀行勘定貸 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。
	④未払消費税等 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。

(3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	前計算期間末 (平成29年1月20日)		
	1年以内	1年超2年以内	2年超
未収消費税等	128,538	—	—
合計	128,538	—	—

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成30年1月期決算短信

（単位：千円）

	当計算期間末 (平成30年1月20日)		
	1年以内	1年超2年以内	2年超
銀行勘定貸	31,933	—	—
合計	31,933	—	—

（関連当事者との取引に関する注記）

前計算期間 自 平成28年1月21日 至 平成29年1月20日										
種類	会社等の 名称	所在地	資本金又は 出資金 (千円) (平成28年12 月末現在)	事業 の 内容	議決権等の 所有(被所 有)割合 (%)	関連 当事者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千 円)
主要 受益者	三菱 商事 RtMジ ャパン (株)	東京都 千代田 区	3,143,062	商社	(被所有) 13.43	信託財産 の売却	プラチナ 地金の売却 (注3) 売却代金 売却益 売却損	54,519 — 6,185	—	—

- 注1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 当計算期間の全取引について記載しております。
 3 プラチナ地金の売却については、信託約款第23条に定める取引条件に拠っております。

当計算期間 自 平成29年1月21日 至 平成30年1月20日										
種類	会社等の 名称	所在地	資本金又は 出資金 (千円) (平成29年12 月末現在)	事業 の 内容	議決権等の 所有(被所 有)割合 (%)	関連 当事者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千 円)
主要 受益者	三菱 商事 RtMジ ャパン (株)	東京都 千代田 区	3,143,062	商社	(被所有) 12.44	信託財産 の売却	プラチナ 地金の売却 (注3) 売却代金 売却益 売却損	58,924 — 5,000	—	—

- 注1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 当計算期間の全取引について記載しております。
 3 プラチナ地金の売却については、信託約款第23条に定める取引条件に拠っております。

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成30年1月期決算短信

（1口当たり情報に関する注記）

（単位：円）

前計算期間		当計算期間	
自 平成28年1月21日		自 平成29年1月21日	
至 平成29年1月20日		至 平成30年1月20日	
1口当たり純資産額	3,558.38	1口当たり純資産額	3,491.46
1口当たり当期純損失（△）	△19.75	1口当たり当期純損失（△）	△18.94

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。